

第3回 総会 議案書

日時；平成30年3月4日（日） 10：00

場所：信濃医療福祉センター PT室

1. 開会の言葉
2. 資格審査
3. 議長選出
4. 議事
 - 第1号議案：平成29年度事業報告
(平成29年4月～平成30年3月)
 - 第2号議案：平成29年度 会計中間報告
 - 第3号議案：平成30年度活動計画（案）
 - 第4号議案：平成30年度予算（案）
5. 議長解任
6. 閉会の言葉

昨年度の反省や経験を元に、長野県内の競技普及と競技レベルの向上を目指し、理事会を中心に協議を重ね、活動して参りました。

今年度より選手権大会が6km/hと10km/hのカテゴリーに分かれての開催となり、県内の2チームも10km/hを選択。それに伴い、10km/hでの合同練習会や大会を開催して参りました。

8月の「第1回長野県電動車椅子サッカー大会」は、県外チームを招いての開催を予定しておりましたが、現在の体制、予算などを考慮し、また控え選手の育成などの目的もあり、県内2チームでの開催となりました。とても暑い中ではありましたが、役員、会員の皆さまや、信州リハのボランティアさんのご協力のおかげで、無事に大会を終えられましたことに感謝いたします。

当日はテレビ信州の（バレッツ小林選手の）密着取材をはじめ、新聞各社の取材を受け、良いPRになったのではないかと思います。また来賓として長野県サッカー協会会長、障がい者スポーツ協会事務局長にお越しいただき、大変興味深く観戦していただきました。

課題としては、競技会委員会や、両チームの一部のスタッフに負担が多くかかってしまったこと、また、やはり県外チームと試合をしたかったという声が聞かれたこと、の2点が挙げられます。大会は徐々にチーム数を増やし、規模を大きくして行きたいとは思いますが、実際に動けるスタッフには限りがあり、かかる負担にも偏りがあることも事実です。

今後協会スタッフやボランティアの人材を増やすことが急務ですが、まずは理事会メンバーで協力し、実行委員となり、各イベントの開催にあたります。会員、ご家族の皆さまのご協力もいただきながら、皆さまのご希望に添えるよう、工夫・検討して参ります。

4月には審判員資格取得講習会を開催。長野県サッカー協会のご協力をいただき、7名の新規審判員が誕生。8月の大会にも参加いただき、県内の審判員のみで大会を開催することができたことは、将来的にもとても大きな一歩でした。

12月には普及イベントとして、信州リハの学生さんを対象とした「第1回長野県電動車椅子サッカーフェスティバル」を企画しましたが、悪天候により中止。改めて開催時期を見直し、来年度は暖かい時期に開催の予定です。

長野県協会のホームページも稼働し始めました。更なる情報の共有・発信に務め、競技の魅力を多くの方に知っていただき、関わっていただけるよう努力します。

当初の年間計画と少し変更になった企画や、見通しが甘く開催できなかった企画もあり、大変申し訳ありませんでした。来年度は規模や時期、頻度を見直しつつ、地道に身の丈に合った活動を行って参ります。

2018. 2. 5.

長野県電動車椅子サッカー協会
会長 竹村 孝 殿

平成 29 年度長野県電動車椅子サッカー協会

事業監査報告書

平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 2 月 5 日現在）

長野県電動車椅子サッカー協会事業について、活動報告書および関係書類に基づき監査した結果、その内容が適正かつ速やかに処理されていることを証明します。

監査員より

- ・年間計画で予定されていた活動が確実に実施できるよう、規模や時期、頻度の検討を行って頂きたい。
- ・競技の普及、発展に加え会員の満足度が高まるような活動を企画・実施して頂きたい。

1、監査期日

平成 30 年 2 月 5 日

2、監査対象

平成 29 年度 長野県電動車椅子サッカー協会 事業

監査

三崎 賢治



石川 智之



各部事業報告

技術委員会

5月、7月、9月、11月 合同練習会

審判委員会

4月22日(土) 審判員資格取得講習会 信州スカイパークにて(参加者 7名)

8月19日(土) 第1回長野県電動車椅子サッカー大会への審判員派遣(6名)

広報・普及委員会

5月 協会役員名簿等をホームページにアップ

6月 信州リハビリテーション専門学校に

第一回長野県電動車椅子サッカー大会ボランティア協力について相談

7月8月 新聞社(長野日報、市民タイムス、信濃毎日新聞、読売新聞、中日新聞) テレビ局(NHK、テレビ信州、信越放送、長野放送、長野朝日放送)へ 長野県電動車椅子サッカー大会のお知らせを配布。

チラシの配布:松本養護学校、松本市内の中学校、伊那養護学校

8月9月 長野県電動車椅子サッカー協会ホームページの作成

1月 協会ホームページの稼働

競技会委員会

4月 年間計画の作成、松本体育館利用申請、減免申請の提出、競技会委員会会議

5月 各委員会への協力依頼、大会ボランティアの依頼(広報・普及委員会)、体育館予約 大会概要案作成、パンフレットの表紙依頼、大会名、後援先の決定、横断幕の検討

6月 大会概要の決定、後援依頼、エントリー票の作成、チームへ連絡、体育館予約 スケジュール表の作成、大会プログラム・パンフレットの作成、お弁当の手配など

7月 開催申請の作成・提出、スコアシート・オフィシャルシートの作成、保険契約 大会に必要な物の準備・購入・確認、大会会場の下見(信州スカイパーク体育館) 大会起案書・概要案の作成と提出(フレンドリーカップ)、体育館予約

8月 長野県電動車椅子サッカー大会の開催、大会の反省、大会報告書の作成・提出、 理事会へのフレンドリーカップについての報告、体育館予約

9月 フェス開催決定、フェス実行委員会の設立、計画・準備

12月 フェス(天候不順のため中止)

医学学術委員会

8月 第1回長野県電動車椅子サッカー大会にて、救護係、放送係を担当。

グラスルーツ委員会

4月 審判講習会での講義(講義内容 電動車椅子サッカー ~歴史と概要~)

5月 長野県障がい者スポーツ協会 普及強化委員会(竹村会長が出席)

8月 第1回長野県電動車椅子サッカー大会チラシ作成

12月 サッカーフェスティバル開催準備 → 天候不順のため中止。

1月 第3回静岡県障がい者サッカーフェスティバル チーム連絡係を担当

1. 身の丈に合った活動・運営をすると共に、会員の皆さまと共に協会を作り上げて行きます。

希望やアイデアは多くあったとしても、現在は1つの大会と、普及イベントを行うことで精一杯の状況です。

まずは理事会役員が実行委員となり、役割を担うことで、スタッフにかかる負担軽減に務めます。また会員の皆さまや、ご家族の皆さまのご協力をいただきながら、協会全員で大会やイベントの開催にあたります。

2. 引き続き長野県内の選手、スタッフ、審判員の発掘・育成・強化を目指すと共に、更なる競技普及に努めます。

【 育成・強化 】

平成30年度はバレッツが6km/h、クラッシューズが10km/hのカテゴリーに分かれることにより、どのように合同練習会及び大会を行うかが大きな課題です。会員の皆さまや、各チームからのご意見・ご要望を聞かせていただきながら、なるべく希望に添える形での開催を検討していきます。そのためにも皆さまの声が重要です。

また競技レベルの向上を図るため、県外チームとの試合ができるよう検討していきます。

【 発掘・普及 】

開催できなかったフェスを暖かい時期に行い、信州リハの学生さんたちに交流しながらこの競技を知っていただきます。

6月にはハピスポひろば2018へ参加します。競技のPRと共に8月予定の大会のPR活動を行い、見学者（未来の選手・スタッフ・サポーター）の獲得を目指します。

ポスター、チラシの配布、ホームページでのお知らせや、マスコミの力を借りながら、積極的に普及活動を行っていきます。

3. 情報を共有し、役割を明確化させつつ、クリーンな運営に努めます。

会員ML、ホームページ等を活用し、情報を共有します。理事会議事録や添付ファイルも閲覧できるようにし、今後も透明性のある運営を心がけます。

また会員皆さまからの声をお寄せいただき、できる限り運営に反映していきます。

協会運営には会員皆さまのご支援・ご協力が必要不可欠です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

またご意見等ありましたら、チーム代表、または直接役員へお申し出ください。皆さまの声を元に活動して参ります。

各部事業計画

技術委員会

1. 県内チーム・選手の技術力向上と交流を図ること
混合練習会（仮）の開催 年1回 県内選手の技術力向上と交流の場
チームの垣根を越えた混合チームを作り、練習・試合を行う。
座談会の実施 12月中旬、又は1～2月
県選抜チームの調整（例：静岡障がい者サッカーフェスティバル等）
チーム練習へ技術委員会から助っ人（協力選手）の参加
2. 県内での普及、選手（スタッフ）の発掘に向けた準備・活動
稲荷山養護学校とのつながりを持つ
練習試合の実施（各チーム）

審判委員会

1. 電動車椅子サッカー競技会への審判員派遣事業
2. 審判員の養成及び研修事業
5月19日（土）資格取得講習会 兼 審判員研修会 兼 審判員体験会
9月 審判員研修会
3月 資格更新講習会
3. 審判員の登録に関する事

広報・普及委員会

1. 長野県電動車椅子サッカー協会ホームページ更新
2. 大会、フェスティバル時のボランティア依頼（信州リハビリテーション専門学校）
3. 電動車椅子サッカーを様々な方に知ってもらうための広報活動
各新聞社にメールにて取材依頼、チラシ作成し支援学校へ配布、写真をHPに掲載
4. お礼状の作成

競技会委員会

1. 県内チームの競技力、選手の育成、強化、技術向上の目的のため、体育館の確保及び、各委員会と連携し大会を開催する。
 - ①第2回長野県電動車椅子サッカー大会の開催
期日 8月11日（土） 場所 松本市総合体育館 を予定。
※内容、カテゴリーについては、県内チームの選手権大会の登録の状況によって現状を判断したうえで、各チームに沿った大会になるよう検討し決定する。
 - ②体育館の予約業務

医学・学術委員会

1. 各種大会・講習会時の救護活動および大会補佐。

グラスルーツ委員会

1. 電動車椅子サッカーフェスティバルの開催（6月か7月、または9月での開催としたい）
2. 長野県障がい者スポーツ協会関係会議への出席
3. J P F A、J I F Fのイベントへの協力
4. 大会のポスター、チラシ作成
5. ハピスポ2018への出展 6月24日 ビッグハットにて（電動車椅子サッカーのPR）

第3号議案

平成30年度 活動予算

※ 別紙参照